

中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	総合政策学部	身分	教授
氏名	荒井 紀一郎		
NAME	Kiichiro Arai		

中央大学特定課題研究費による研究期間終了に伴い、中央大学学内研究費助成規程第15条に基づき、下記の通りご報告致します。

1. 研究課題

(和文) 政治的価値観が組織のパフォーマンスに与える効果の測定

(英文) Assessing the Impact of Political Ideologies on Organizational Efficacy

2. 研究期間

2022年度 ~ 2023年度

3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度)

(和文) 本研究の目的は、行政組織のパフォーマンスが向上する条件とそのメカニズムについて、組織構造、タスク、そして政治的価値観をはじめとする構成員のパーソナリティに着目して解明することにある。目的を達成するため、インターネットを介して被験者を様々な組織形態に無作為に割り当てた上で、特定のタスクを課してそのパフォーマンスを測定する実験を複数回実施した。

実験の結果、以下3点のことが明らかになった。第1に、調和主義的な傾向のある被験者がフラット型組織の課長に割り当てられると、部下からあげられるすべての情報を元に意思決定をおこなうとするため、情報の取舍選択に失敗してパフォーマンスが顕著に下がることが明らかになった。第2に、ニュースベンダーモデルをベースとした上司による部下へのタスク配分実験では、部下のこれまでの成績が把握できている状況においても、上司は最適なタスク配分ができず、意思決定にバイアスがかかることが示された。第3に、部下と上司との間のコミュニケーションの効果を検証する実験では、コミュニケーションの機会を確保した群の方がそうでない群よりも部下の選択が組織の利益に沿うものになる傾向があることが示された。ただし、部下のパーソナリティが権威主義的である場合、上司とのコミュニケーションの機会を設けていても、組織全体の利益を優先せずに、上司や所属部局の利益が優先される傾向があることが明らかであった。

(英文) This study explores factors affecting administrative organization performance, focusing on organizational structure, task assignment, and member personalities, including political values. Through internet-based experiments with randomly assigned organizational forms and tasks, three main findings emerged. First, managers with harmonious tendencies in flat organizations struggled with information overload, degrading their decision-making. Second, even informed managers showed biases in task distribution, deviating from optimal allocations. Third, while effective communication generally aligned decisions with organizational goals, authoritarian subordinates prioritized departmental interests over organizational benefits. These results underline the complex interplay of structure, personality, and communication in organizational performance.